

いつもの学校生活

今週に入って、いつもの学校生活、学校のリズムが戻ってきました。こちらは授業風景です。

どの生徒も学年が上がり、真新しい教科書を手にし授業に取り組んでいます。授業内容も少し難しくなってきましたが、真剣に取り組む姿を見ると、それなりに成長しているなど感じました。

新しく本校に赴任してきた先生の授業のやり方は、それまで習っていた先生とは違うと思います。違いがあるということは、そこに新鮮さがあり、学ぶものがあります。「この先生はこういう教え方をするんだな」と素直な気持ちで受け取ってください。新しい何かを学ぶことができ、それが自分の成長につながります。

考えてみれば、私たちは常に新しい環境に身を置くことになります。中学校を卒業したら高校に行き、その後、大学そして就職。いずれは結婚し家庭を持ち…。人生は変化の連続です。その中で自分自身も成長していきます。

楽しい環境、楽な環境に居続けては成長はありません。仮に同じ場所に居ても「より良い生活をするためには何をどう変えていけばよいか」と工夫することが必要です。

左の写真は校門脇の花壇です。庁務員さんが毎年花を植えてくれています。同じ花もいくつかありますが、その年々で違う花も植えられます。ちょっとした心遣いですが、そういう小さな変化が大切だと思います。

変化を恐れず、変化を成長につなげよう！



メールメイトへの登録を！

先日お知らせしたように、本校では学級連絡網の代わりにメールメイトを活用しています。学校からの情報を素早く、正確に保護者の皆様にお届けできます。これから梅雨や台風の季節にもなります。行事の急な変更等のお知らせをしなければならぬこともでてくると思います。登録がお済でない方は、是非ご登録ください。**※ご不明な点は学校までお問合せください。**

一言

校長室掃除の生徒たちには、時々プリント配付の手伝いをお願いします。

担当は、毎年1年生が割り当てられているのですが、入学してきたばかりで、ちょっと緊張した面持ちでやってきます。

さて、プリントを数える作業をしている様子をそれとなく見ていると、要領のいい生徒とそうでない生徒がいます。単に手先が器用かどうかというだけでなく、どのように作業を進めれば

よいか、その判断力の違いもあります。そこで生徒たちに次のように言っています。「早い人はどこが自分と違うのか、よく観察して、自分なりに工夫しよう。何事もぼんやりとやるのではなく、常に考えながらよりよい方法を考えること。考える習慣を身に付ければ、それは勉強にも部活動にも、日々の生活にも生かせる」と。物事を考えてこそ、人間です。考える人はいくらでも成長します。